



学校だより 6月号

横浜市立瀬谷さくら小学校
校長 池田 千晶

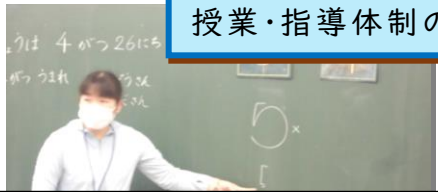
学校教育目標「自分大すき 友だち大すき このまち大すき さくらの子」

瀬谷さくら小学校が目指す方向と実現のための取組

副校長 前山 健

瀬谷さくら小学校の学校教育目標は、「自分大すき 友だち大すき このまち大すき さくらの子」です。学校の教育活動は、学校教育目標を達成するために行うものです。今年度より、中期学校経営方針を新たに作成し、3年間を見通した中期取組目標とその目標達成のための3つのプランに基づき職員が取り組んでいるところです。取組の効果は、1年後の児童のつぶやきとなって表れると思います。家庭、地域の皆様におかれましては、今後も変わらず、温かい目で「つぶやきに注目しながら」子どもたちを見守っていただくようお願いします。

授業・指導体制の工夫



視覚的な掲示資料や体験的な活動を取り入れるなど子どもにとって分かりやすい授業の在り方を日々工夫しています。

自信がもてる活動



一部教科担任制やチーム学年経営(6年)を実施することで、児童の学力向上や心の安定につながるようにしています。

授業や日常生活において、子どもが活躍する場面を意図的に設定しています。

自分大すき

「やってみようかな」「できた」「わかった」「できるようになりたいな」「できることがふえた」

友だち大すき

「〇〇さんすごい」「みんなでやろう」「いっしょにやろう」「おしえてあげるよ」「おしえて」

このまち大すき

「〇〇さんおはようございます」「このまちの〇〇がいいんだよ」「まちの人をしょうたいしたい」



自分が認められ、友達のよさを感じる時間を設定しています。

ICT機器に触れる場面をたくさん設定しています。

地域の力の活用

学援隊による学習サポート(地域の皆様が教室に入り学習支援をしていただく取組)が6月より、2年ぶりに開始予定!地域の力を子どもたちに還元していただきます。

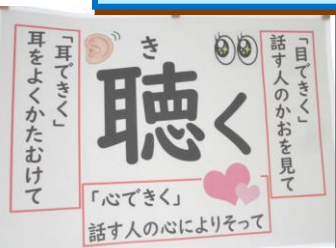
担任とのミニ面談やアンケートを計画的に実施。子どもたちの思いをキャッチしていきます。

人と関わる喜び



異学年交流活動を計画的に行い、人と関わる喜びを獲得できるようにしています。

社会的スキルの獲得



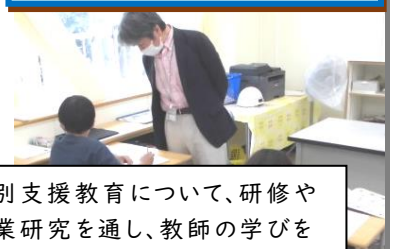
人権尊重の視点から、各学年で話の聞き方について継続的に指導しています。

問題発見・解決力の育成



教師が決めるのではなく、子どもの思いを大切にし、子ども自らが活動の計画・実施に関わるようにしています。

特別支援教育の推進



特別支援教育について、研修や授業研究を通し、教師の学びを深め、実践を重ねています。